

平成26年度 1学期センターマネジメント										
学校教育目標	生活のリズム(望ましい睡眠・食事のあり方、メディアとのつきあい方)、生活習慣(身だしなみ、清潔感、整理整頓)を定着させ、自主・自立の精神を養い、共生の精神を尊重する人間関係づくりを構築し、学力向上をめざす。									
重点努力目標	(1)生活リズムや基本的生活習慣を身につけさせ、学習規律や学習態度の確立、学習習慣を定着させることによって、基礎学力の向上をめざす。 (2)人間関係を育む学級経営、学習指導、学校行事、生徒会行事、部活動を通して、「学校が楽しくて満足している」と実感できる、共に生きる集団づくりをめざす。 (3)生徒一人ひとりが、価値ある存在として実感することができ、自分の生き方に夢や希望、誇りをもって、「社会とどう向き合い、社会とどう関わっていくか」を形成し、自己実現を図っていくことのできる学校づくりをめざす。									
分掌重点目標	①本校が岩美町の「人づくり」「地域づくり」の一翼を担い、特に教育面、文化面においてセンター的な役割を果たす。 ②そのために、地域住民や地域機関との連携を強化しながら、地域住民の一員としての自覚が高まる生徒の育成を目指す。 ③岩美町が推進するスクラム教育の一翼を担う。									
目指す学校・生徒の姿 Plan	分野別目標	1学期の常時活動 Do	4 月	5 月	6 月	7 月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do & Check	二期への提 言 Action
①岩美町や自分の育った地域を愛し、郷土に誇りと自信を持つ生徒 ②岩美町内外の人的資源を有効活用し、将来に夢や希望をもった生徒の育成に努める教師	地域人材を活用した教育活動の企画・実践を通して、地域を愛し、郷土に誇りをもち、自らの姿に自信をもった生徒を育成する	①ふるさと先生に学ぶ	前年度のC&Aを元に活動内容および事業所(分野)を検討する。	学年会により今年度の実施計画を検討・作成	受け入れ事業所について検討 ・ワクワク岩美を活用し検討 ・保護者から情報収集(PTA役員より)	・受け入れ事業所を確定 ・事業所への依頼文書作成	地域人材の発掘に努め、協力企業への協力を要請し、参加事業所の増加をはかり、地域の人材を活用できる。	地域人材、地域企業の協力を得ることができる。		
	②ワクワクchallenge in IWAMI	「春の遠足」で、職場体験事業所あいさつまわりをさせると共に、「岩美町散策クイズラリー」を実施する。 ※各事業所担当教員を決定し、依頼文書を持つていく。	○職場体験学習の具体的な打ち合わせを各担当教員で行う。 ○事前学習にも活用できる実習ノートを作成する。	○事前学習の計画を立て、学年会で検討する。→ 各クラスまたは、職場単位で集り学習を進めていく。 ○「職場体験学習」の実施 ○活動の振り返りと事後学習の実施	○受け入れ事業所への礼状指導 ○職場体験学習のまとめと発表会の準備					
	③修学旅行岩美町PR大作戦	☆修学旅行<第2日4/18(金)>『班別自由研修』で「食のみやこ鳥取プラザ」で岩美町PR活動を行う。 →帰校後、活動の振り返り&まとめ	修学旅行の成果や東京での企業訪問の様子を広報「いわみ」・「いわみチャンネル」等で広く町民に活動を紹介していただくようお願いする。	☆来年度に向けてのC&Aの実施(学年団)						
②来校いただくことによって保護者・地域の方々から信頼される学校を目指す教師	保護者、地域の方々の学校運営参画意識の高揚につながる教育活動を行う	保護者・地域の方々の学校運営への参画意識の高揚 ①PTA関係行事行事(PTA総会、人権教育参観日) ②若鷺あいさつ見守り隊 ③若鷺見守りDAY	①PTA総会(4/26)に向けて学年だより、HPIによる広報、学級役員による呼びかけ→参加率集約→振り返り 学年・学級活動参加への学年だよりによる広報、学級役員による呼びかけ				・「PTA関係行事」「若鷺校内見守り隊」「若鷺あいさつ見守り隊」等、保護者・地域の方々を巻き込んだ活動を定着させる。	・PTA関係行事(PTA総会、人権参観日、学年末PTA)への参加率が50%以上 ・若鷺見守りDAY参加者数が平均10人以上 ・若鷺あいさつ見守り隊の参加者数が平均5人以上		
		②若鷺あいさつ見守り隊への協力要請(P執行部・保護者主導で参加者が増える手立てを検討していただくよう要請) → 参加数集約 → 振り返り → 2学期以降で								
		③若鷺見守りDAY(6/3部活動、7/5人権参観日)の参加数を増やすための広報活動 → 参加数集約 → 振り返り								
			* 保護者・地域の方々の学校運営参画意識の高揚につながる教育活動の創造・継続(○地域の母親・NPOとの連携「赤ちゃんとのふれあい体験」 ○分掌、学年との連携による「参画意識」高揚につなげる活動の企画・実施)							
			(新)地域高齢者と中学生による校内での交流活動の企画・実施							
①人に喜ばれ、人の役に立ち、地域に貢献できる生徒 ②地域行事に積極的に参画することによって、地域から期待される生徒を支援する教師	町教育委員会、各地区自治会、公民館等関係諸機関との日常的な連携に努め、地域のニーズを的確に把握する。	①町区別生徒会を活用しての地域行事への積極的参加の促し ②地域と連携した校外行事	①第1回町区別生徒会(一覧表で行事の確認→積極的参加への促し→集約)	町公民館長会への参加(情報発信、意見・要望集約)	町区別生徒会の随時開催(行事事前)、教職員の参加 各地区からの情報の集約、生徒への広報		第2回町区別生徒会(1学期の振り返り→夏休みの地域行事への積極的参加の促し)	・地域の行事やボランティア活動への教師・生徒の参加を積極的に促す。	・生徒質問紙調査項目18「地域の行事や活動に積極的に参加している」の肯定的評価が70%以上達成	
			②地域と連携した校外行事の実施(遠足、JRCボランティア清掃活動、浦富マラソン)							